

弊社製品・サービスのプライバシー・セキュリティの強化に関する予定

(2018.5.18 更新)

EBSCO（以下弊社）では、世界中のお客様それぞれのプライバシー基準を満たしつつ、最適な動作環境を提供することを目標に、マルチテナント環境においても最高レベルのセキュリティを提供するよう日々対策に努めています。

弊社では、2018年5月25日に発効する General Data Protection Regulation（GDPR/EU の一般データ保護規則）を遵守する目的で、2018年中に下記のアップデートを予定しております。

- ・パスワード・ポリシーの強化
- ・エンドユーザー側でのプライバシーコントロールを実装
- ・HTTPS 化（=安全なデータ転送環境の整備）

本アップデートは、個人情報の適切な管理・保護を進めると共に、お客様およびエンドユーザーの皆様に安全かつ信頼性の高い情報検索環境を提供するものです。各アップデートの詳細については、以下をご参照下さい。

また GDPR 準拠に関する取り組みについては、下記も併せてご参照下さいませ。

[「EBSCO 社の個人情報セキュリティおよびプライバシー保護に関する取り組み」](#)

・パスワード・ポリシーの強化

2018年5月5日以降、MyEBSCOhost など弊社サービスにログインする為のパスワードをお客様の側で新規に設定する（もしくは更新する）場合、パスワードは下記の要件を満たしている必要があります。

- 1文字以上の数字を含むこと
- 1文字以上の特殊文字(!, @, # など)を含むこと
 - ※ なお、スペース（空白）は特殊文字に含まれませんのでご注意ください
- 6文字以上であること
- user ID を含まない文字列であること
- 右の文字列を含まないこと：ebsco / ehost / admin / dynamed / password

現在お使い頂いている（既に作成済の）パスワードについては、変更は適用されません。そのままお使い頂けますのでご安心下さい。

・エンドユーザー側でのプライバシーコントロールを実装

My EBSCOhost（個人アカウント）などを作成する際に登録する（した）情報の管理/削除を、利用者の側で行って頂けるようになります。

この変更は、これから新規にアカウントを作成する場合だけでなく、既に作成されているアカウントにも適用されます。

個人アカウントの新規作成/既存アカウントへのアクセスにあたっては、最初にプライバシーポリシーへの同意を求められますが、同意したくない利用者は [[Remove My Data](#)] 機能を使用して自身のアカウント情報をシステム上から削除できます。

※ 但し、削除されたアカウントの回復はいたしかねますので、削除にあたっては十分にご注意下さいますようお願い申し上げます。

※ エンドユーザーの皆様は、過去 12 ヶ月のうちに、ご自身の個人情報がどのように取り扱われた(収集された)かについてのレポートを請求できるようになります。

・ HTTPS 化

2018 年 7 月 (予定)、EBSCO 製品は HTTPS 化いたします。これにより、エンドユーザーと弊社製品間における通信の安全性が保証されると共に、エンドユーザー/顧客のプライバシー保護が強化されます。HTTPS 環境への移行後、HTTP EBSCO リソースへのリンク URL をから更新していない場合は、HTTPS へのリダイレクトが自動的に行われます。

2018 年 7 月以前に HTTPS 環境への移行を希望されるお客様は、弊社までお問い合わせ下さい。

・ プロキシサーバーのアップデート

EBSCO 製品へのアクセスにあたって、プロキシによる利用者認証を設定しているお客様は、プロキシが SSL に対応*する必要があります。(*プロキシベンダー側の作業が発生する場合がございます)

なお、SSL サーバ証明書は、証明書署名認証局 (Certificate Signing Authority) が発行したものを利用されることをお勧めします。自己署名証明書をお使い頂くことも可能ですが、EBSCO 製品にアクセスするにあたり警告メッセージが表示される場合があります。

証明書署名認証局の発行する電子証明をお使いいただくことで、エンドユーザーの皆様はストレスなく製品をご利用頂けます。

・ Referring URL のアップデート

外部認証にあたって Referring URL をお使いのお客様は、HTTPS 環境が必須となります。HTTPS への対応がなされていないままで EBSCO 製品にアクセスしようとすると、下記エラーメッセージが表示されますのでご注意ください。

"We are unable to validate your login credentials. Please contact your institution for assistance. Please note, Referring URL authentication may have been prevented by antivirus or privacy control software. [Authentication Error Code 103]"

・ 各種ブラウザへの対応

弊社が推奨する環境に満たないブラウザを利用すると、データベースや各種サービスのレイアウトが崩れる、インターフェースが正常に表示されないなどの不具合が起こる場合がございます。

ご所属機関のブラウザが、提供されている最新のバージョンであるかどうか、今一度御確認をお願い

致します。

[注]

EBSCO は Transport Layer Security (TLS) 1.2 を使用致します。これは殆どのブラウザで標準的にご利用頂けるものですが **Internet Explorer 10 をお使いのお客様**は、下記の手順で有効化して下さい。

■ IE 10 で TLS 1.2 を有効にする方法 ■

1. Internet Explorer 10 ブラウザを開く
2. [インターネットオプション]を開く
3. [詳細設定]のタブに移動する
4. 設定>>セキュリティ項目内の「TLS 1.2 を使用」にチェックをつける
5. [OK]をクリックする

何かご不明な点がございましたら、弊社までお問い合わせ下さいませ。お客さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。